

〈発表者〉 指導区名：鹿児島 氏名：中村 克之

1 発表テーマ

鹿児島地域における循環型林業の推進について

2 テーマの趣旨・目的〈取組課題設定の背景含む〉

当地域においては、県の「森林・林業振興基本計画」の基本理念の実現や目標の達成に向けて、「鹿児島地域未来の森林づくり推進プラン」を令和元年10月に作成し、種々の目標を掲げて、関係者が一丸となって取り組んでいる。

このような中、丸太の海外輸出やバイオマス発電施設の稼働等により、当管内においても利用期に達している人工林の主伐が進み、素材生産活動が活発化している一方、再造林が行われていない森林が増加傾向にある。

現在、森林の多面的機能の発揮を図りつつ、「伐って→植えて→育てる」といった資源の循環利用を促進するため、日々の普及活動を行っているが、森林所有者及び素材生産業者との対話を通じて、再造林への関心や資源の循環利用に対する認識の低さを感じている。

そこで、今回は「伐って→植えて」つまり、「再造林の推進」にテーマを絞り、適正な伐採と再造林の推進のための体制強化、今後の森林施業を担う労働力の確保と育成に取り組んだ。

3 現状及びこれまでの取組みの成果・課題

① 成果（目標数値等を定めた場合は、その成果を含む）

○ 再造林推進に係る体制づくり

◇ 森林整備推進会議（年3回実施）

◇ 伐採届の厳格化（本土3市実施）

◇ 再造林の個別指導

・ 0.5ha以上かつ再造林が計画されていない伐採届について市と連携して、現地において、「伐採に対する指導」及び「再造林の推進指導」を実施

◇ 森林所有者への普及啓発

◇ 森林経営（施業）プランナーの育成（R2新規認定3名）

○ 造林・保育に必要な労働力の確保と育成

◇ 林業事業体の育成（R2新規認定：認定林業事業体：1者、登録林業事業体：2者、意欲と能力のある林業経営者：4者）

◇ コンテナ苗の普及（(R元)16千本→(R2)25千本（補助事業実績））

◇ 作業の効率化（現地研修会開催）

○ 造林・保育コストの低減

◇ コンテナ苗植栽や低密度植栽の推進（現地研修会開催）

◇ 森林作業道作設オペレーターの育成

○ 優良苗木の安定供給体制づくり

◇ コンテナ苗生産者（R2新規生産者：1者）

- 「個別推進の実施」後の追加課題と取組成果
 - ◇ 森林所有者に対する適正な立木価格の情報提供
 - ・市広報誌を活用し、定期的に注意喚起を実施
 - ◇ 再造林及び下刈りにおける事業体連携の検討
 - ・アンケート調査を実施中であり、結果を踏まえて連携の在り方を検討

② 課題

- 再造林推進体制の更なる強化
- 作業の効率化を促進
- 更なる林業労働力の確保と育成

4 今後取組むべき内容

① 具体的手法又は検討方向

- 再造林推進体制の更なる強化
 - ・森林整備推進会議等における再造林推進方策の検討，現場での実践
- 作業の効率化の促進
 - ・作業労働負荷の軽減や低コスト施業に繋がる研修を継続して実施
- 更なる林業労働力の確保と育成
 - ・一人親方等の事業体の育成，再造林実施に向けた事業体連携を推進

② 理由

今後，木材生産活動がますます旺盛になることが推察されることから，再造林の推進体制を強化し，森林所有者，林業事業体及び行政が一丸となって，循環型林業の実現に向かって取り組む必要

③ 期待する成果（目標数値等を定めた場合は，その内容を含む）

林業は「伐って→植えて→育てる」のとおり資源を循環利用していくものであり，このことを県民の共通認識するとともに，本県の林業がそれを実行していく体制に成長することを期待（循環型林業の励行）。